

試験日 : 2024年11月09日
入試種別 : 外国人留学生 大学院(修士課程) 入学試験問題
学部・研究科 : 心理学研究科
科目名 : 専門科目

解答又は解答例

設問 I

- | | | | |
|----|----------------|-----------|-----------|
| 1. | ① : 精神分析 | A : フロイト | ア : 抑圧 |
| 2. | ② : クライエント中心療法 | B : ロジャーズ | イ : 自己概念 |
| 3. | ③ : 行動療法 | C : ワトソン | ウ : 学習 |
| 4. | ④ : 認知行動療法 | D : ベック | エ : スキーマ |
| 5. | ⑤ : ゲシュタルト療法 | E : パールズ | オ : 地 |
| 6. | ⑥ : 森田療法 | F : 森田正馬 | カ : あるがまま |
| 7. | ⑦ : 内観療法 | G : 吉本伊信 | キ : 身調べ |

設問 II

面接構造とは、カウンセリングが行われる一定の枠組みを指している。外的な枠組みとしては、場所、時間、料金などがある。これらは、面接初期において設定されており、簡単には変更できないものである。なぜこのような面接構造が必要かという、カウンセラー・クライエント関係がこの面接構造に支えられることによって、クライエントは安心して自由に話すことができるのである。また、この枠組みがあることで、この枠組みを守ろうとしない心の動きを理解することが可能になる。さらにこの枠組みにより、面接が日常から切り離された非日常の場となる。